

# 白川町としての方向性

## 【現状】

- 高校生は通学に不便
  - ・ 自宅通学できず下宿する
  - ・ 子どもの進学を機に家族で転出を考える
- 自動車に乗れない高齢者は移動に不便
  - ・ 買物、病院
  - ・ バス停が遠い（歩いて行けない）

## 【将来】

暮らしにくい町になる

- 若い人は減り
- 高齢者は増える
  - 高齢運転者の交通事故の危険性も増える
  - 免許証自主返納
  - 移動困難者が増加

自家用車が無くても、安心して暮らしていける町にしたい。

「車がある世帯しか生きていけない町」にしてはいけない

## みんなで考えて 公共交通を抜本的に見直す

足(移動手段)の確保・利便性の向上

生活に使える公共交通をつくる

### 【例えば】

みんなで考える

- 暮らしに便利なバス運行を考える
  - ・ 路線変更
  - ・ 予約型運行
  - ・ 車両の小型化
- 様々な”足”の確保と活用を考える
  - ・ タクシー
  - ・ スクールバス
  - ・ 福祉有償運送
  - ・ 過疎地有償運送
  - ・ 移送サービス
  - ・ 貨客混載 etc.
- 人材の確保(運転手の育成、養成)

買物・通学・医療機関・金融機関への移動に困らないように

【小さな拠点と集落をつなぐネットワークの構築】

観光にも対応

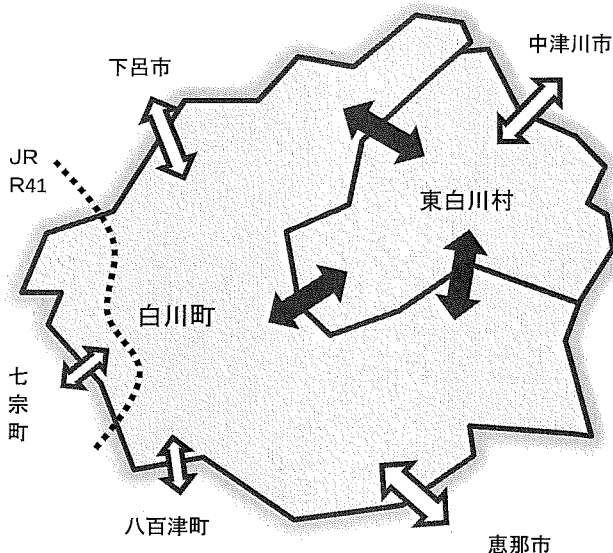
公共交通機関で白川町に来る人が困らないように

【JR高山本線との連携・情報発信】

限られた財源の中で

みんなでやるまいか

平成28年度から計画策定に向けて着手



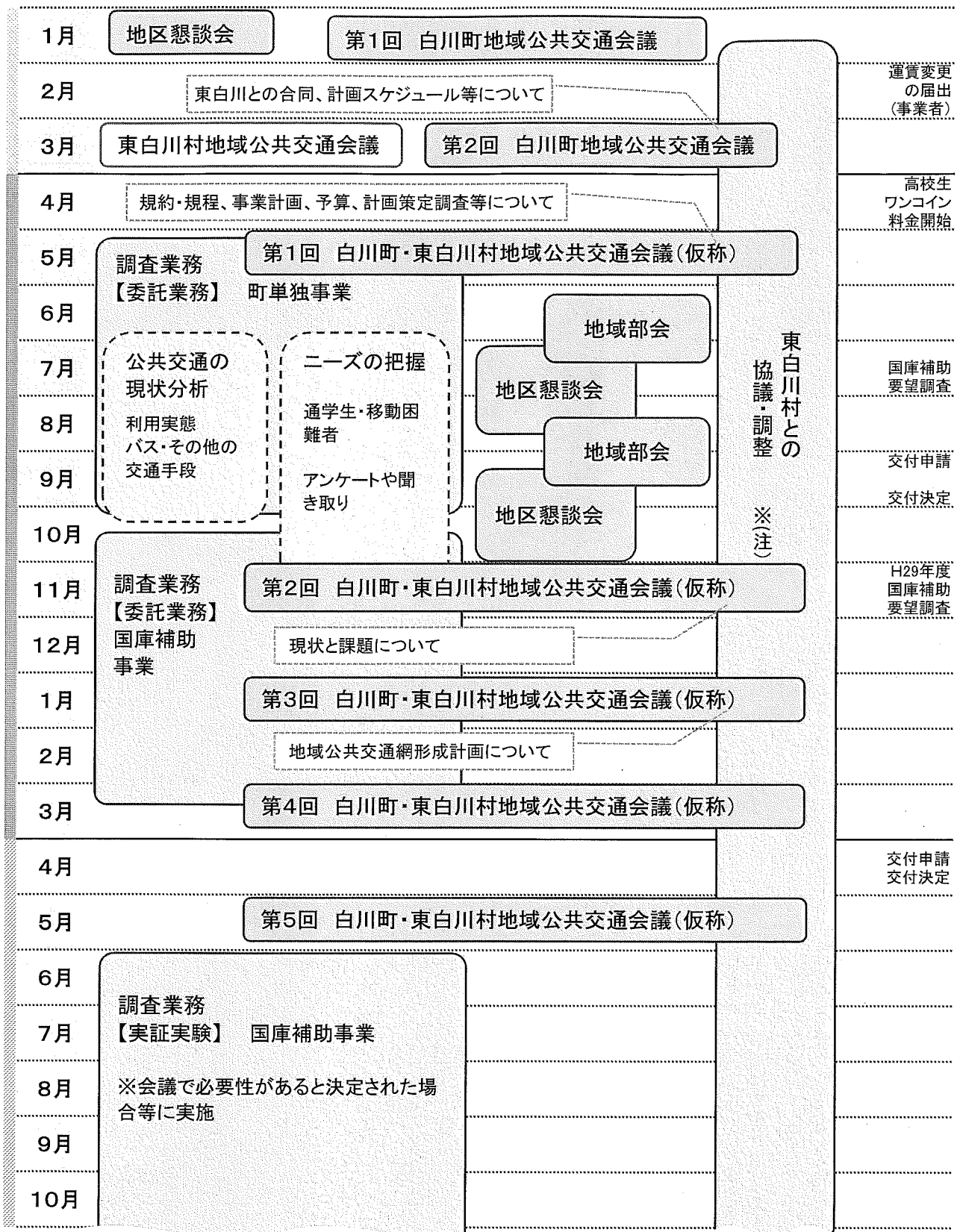
東白川村とつながる公共交通を考えると、行き来を便利に

合同で 地域公共交通会議 法定協議会 を設置

それに続いて

リニア開通を見据えて、東濃方面への足も考える【近隣市町村との交通連携】

# 今後の進め方(イメージ)



※(注)

東白川村とは現時点で未調整のため、会議の開催時期を含め、東白川村と協議が必要な事項は、その状況により進め方が変更となる事項があることを了知ください。